

交通事故のないまちづくりを…

◎第54回交通安全県民大会

表彰状を授与される受賞者



「第54回交通安全県民大会」は7月15日、松山市のひめぎんホールで開催され、鬼北町から7人の方々が表彰されました。受賞した方々は次の通りです。

(敬称略)

愛媛県警察本部長・愛媛県交通安全協会連名表彰

〔交通功労者〕兵頭弘(大宿)

〔優良運転者〕松浦スミ子(清延)、兵頭兌(生田)、芝嘉也(下大野)、井上脩(上大野)

四国管区警察局長・四国交通安全協会連名表彰

〔優良運転者〕河添稔(成藤)

警察庁長官・全日本交通安全協会連名表彰

〔優良運転者〕森岡純雄(出目)

柔らかい歌声、人々の胸を打つ

◎花れんコンサート

児童と一緒に歌を楽しむ花れんさん



7月10日、泉小学校で宇和島市出身のシンガーソングライター「花れん」さんによる「いやしの泉へーおかえりー花れんコンサート」が開催されました。音楽を通して、子どもたちに豊かな感性を育んでほしいと企画された本コンサート。その温かく優しい歌声が、歌に込められた思いを参加した人たちの心に届け、その場にいた全員がその穏やかな世界観に満たされていました。

また、花れんさんは優しく語りかけたり、知っている曲と一緒に歌ったりと、終始コミュニケーションを図り、児童との交流を深めました。

「どんな味？」食用鬼灯に関心高まる

◎鬼灯まつり

「食用鬼灯」に興味津々の来場者



「鬼灯まつり」は7月25日、道の駅森の三角ぼうしで行われました。

これは、「鬼灯」に「鬼」という文字がつくことに着目して、「鬼北町の特産品に」と鬼北町発掘隊の田中明美さんが取り組んでいるもの。田中さんは以前より食用鬼灯の栽培をしており、今回より多くの人にその存在、そしてその味を知ってもらおうと食用鬼灯の無料試食会を行いました。

訪れた人たちは、「鬼灯を食べる」ということに最初は驚くものの、一口味わうとその何とも言えない独特の味に、ますます関心を深めているようでした。

「慎重に慎重に…」どきどきの交流会

◎交流事業「ドミノ倒しに挑戦」

慎重な手つきでドミノを並べる児童



7月20日、松野町の吉野生住民センターで鬼北町と松野町の交流事業「ドミノ倒しに挑戦」が行われました。

今年で2回目となる本交流会には、鬼北町から好藤・三島・泉・日吉の各小学校の児童たち、松野町からは松野東小学校の児童たち、合わせて64人が参加。お互いに協力しながら縦約20cm、横約15cmの巨大ドミノを完成させました。

作業中、何度も倒しては直すことを繰り返しながら、完成までの地道な作業を通して交流を深めた児童たち。「1人でも友達をつくること」この日決めた目標は、参加した全員が達成できたようでした。